

# 文化、ケアおよび農耕を ローカルとグローバルの視点から 考えてみよう

みなさんには尊敬できる人がいるのでしょうか？ いるとすれば、それは誰で、なぜ尊敬しているのでしょうか？

この度、担当教員が最も尊敬する方を本学にお呼びし、お話しいただけることになりました。その方は、元千葉大学学長、紫綬褒章受章者の古在豊樹先生です。

古在先生は、世界を代表する学者のお一人で、著書 171 冊、論文 496 編という常識では考えられないほどの著作を執筆されています。研究分野も幅広く多彩で、農学、生物学、環境学、工学、科学技術論から看護学、教育論、文明論まで学際的に研究されています。70 歳を越えられた今でも、世界のあちこちから招聘され、今も世界中を飛び回っておられます。

日本や世界が直面する食料・環境・資源問題、グローバル文明とローカル文化の衝突と統合、複雑すぎて解決困難しかし最も必要とされる「ケア」の問題などに、私たちはどう対応したらよいのでしょうか？ また、この生きるのがむずかしい時代に、幸せに生きるにはどうしたらよいのでしょうか？

実は古在先生を最も尊敬している理由は、先生の生き方そのものです。古在先生のお話を直接お聴きし、今後の生き方のヒントを一緒に考えたいと思います。

どなたでも参加できます。どうぞお越しください。

## ＜「グローバル政治論演習」特別講義＞

- 日時： 12月20日（火）14：30～16：00
- 会場： 横浜市立大学金沢八景キャンパス 文科系研究棟5階526号室
- 講師： 古在豊樹（元千葉大学学長）

## ＜講師プロフィール＞

東京大学大学院農学系研究科博士課程修了、大阪府立大学農学部助手、千葉大学園芸学部教授、同学部長、同環境健康フィールド科学センター長を経て、千葉大学学長。現在は植物工場研究会理事長、千葉大学名誉教授。著書 171 冊、論文 496 編。2002 年に紫綬褒章受賞。古在豊樹著『「幸せの種」はきっと見つかる』（祥伝社、2008 年）はすべての方に一読をお勧めします。

（問い合わせ）上村雄彦 [uemura@yokohama-cu.ac.jp](mailto:uemura@yokohama-cu.ac.jp)